

# 都市再生整備計画(第5回変更)

こぎかい  
小坂井地区

愛知県 とよかわし  
豊川市

平成22年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市	地区名	こぎかい 小坂井地区	面積	398 ha
計画期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度
交付期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度

### 目標

#### 大目標：安全で安心なまちづくり ～町民みな防災要員～

目標1 大規模災害や近年の犯罪の急増に対応するため公共施設の整備改善を行うことにより防災拠点等施設の能力向上を図り、子どもから高齢者まで地域社会全体の安全で安心な暮らしの提供を目指す。

目標2 行政区単位で防災施設を整備することにより住民の防災に対する意識向上を図る。

目標3 交通環境の改善を図りながら、災害時の物資輸送路・緊急車両用道路等を整備することにより災害に強い地域防災のまちづくりを推進する。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

・旧小坂井町は、愛知県の南東部に位置し、東西4Km、南北3Km、町域面積9.92Km<sup>2</sup>と三河地域の中でも最も小さい町でありながら、人口は、21,664人(H12国調)であるため人口密度が、2,184人/Km<sup>2</sup>と非常に高い町である。  
 ・当地区は、役場、公民館、保健センターをはじめとする公共施設や工業関係施設、商業関係施設が立地しており中心市街地を形成している。また、当地区はDID地区も含む形となっており、鉄道がJR東海道本線、JR飯田線及び名古屋鉄道本線3路線(3駅)、国道が1本通っている。

・第5次小坂井町総合計画での当地区は、

①「中心地ゾーン」「居住環境ゾーン」に位置づけられ、「準都市型居住の場」「子どもから高齢者まで安全で健康的に住むことができる」こと。

②防災・災害対策では、都市型災害の発生を最小限にとどめるため、道路・公園等のオープンスペースを確保した都市施設の整備を計画的に推進し、公共施設の耐震診断を順次進め、危険箇所の改善と避難場所としての確保を図ること。

③災害時には、備えた食糧の備蓄や応急用資器材の充実を図るとともに、被害規模の想定に応じた調達方法の確立に努めること。

が位置づけられており、ハード面については各公共施設の耐震補強工事が進められ、備蓄食糧等及び大規模災害時非難用地等も順次購入し、また、ソフト面では、災害時要援護者登録制度の創設や、自主防災会や職員による地域防災連絡員の活動なども実施され、町民総ぐるみ防災訓練では、現在、町内を5地区に分け防災訓練が実施されている状況である。また、当該地区においてはボランティアによる町内防犯パトロール組織の結成を推進し、防犯パトロールの実施や防犯灯を設置している。

・小坂井町都市計画マスタープランでの当地区は、

①公園については、近隣公園として、将来人口に対応した公園を量的に確保するため、将来、市街地内に3箇所配置し、(都)名豊道路1.0周辺に事業者のための近隣公園を1箇所配置するものとする。

②市街地整備の方針として、駅周辺の密集市街地及び市街地内の農地が多く混在する地域では、良好な宅地化を促進するため土地区画整理事業をはじめとする面的整備事業を促進する。

と位置づけられているところであるが、公園については、住民ボランティアが計画段階から参加するなどして利用形態を模索し進められており、区画整理についても、組合施行により実施されている状況である。

#### 課題

・鉄道により市街化区域が分断されていることから、大規模地震等により甚大な被害が想定され防災対策基盤整備が緊急かつ重要な課題となっている。

①本町の人口の約90%の人口が集中しており、主要な骨格を形成している国・県道により近隣市町への連絡性は良好であるが、JR東海道本線、JR飯田線及び名古屋鉄道本線の3本の鉄道による分断化により町の内々の連絡性が良くない。②ほとんどの道路が幅員4m未満の狭小な道路であり、緊急車両等の通行を妨げることになる。③中学校の校舎については、校舎アルミサッシの窓枠取り付けが構造的に弱く、地震の際には窓枠が破損することによりガラスが飛散し二次災害も可能性がある。④中心部にある役場に隣接した公民館が昭和47年に建設されたものであり、耐震工事ができていない。⑤中央から東側には、公園や避難地が存在するが、西側には、避難地となるような公園等も存在しない。以上から、地震防災対策強化地域になっている本町では、東海・東南海地震などの大規模地震や台風の発生に対しては、地震そのものによる被害と火災等による二次災害、ライフライン施設の損壊により、住民生活に多大な影響が想定されるため、防災に配慮した都市基盤の整備を促進するとともに、鉄道により分断された地区単位での避難場所の整備と避難場所における防災資機材・物資の整備・備蓄を図る必要がある。⑥犯罪についても、幹線道路や鉄道の3駅が存在することから、「侵入盗」の犯罪件数も増加傾向にあるため、防犯対策を図る必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

町の将来像として「こまやかな やさしさ ふれあい 田園都市」として目標年次を平成22年度とする小坂井町総合計画を平成12年度に策定し、さらには、「安全・安心のまちづくり」「住民参画と協働のまちづくり」「やすらぎとるおいあるまちづくり」「創造性に満ちた活力あるまちづくり」「広域連携と協調のまちづくり」を目指しており、コンパクトという特徴を活かし行政の情報を住民と共有し、また地域の人人々の知恵を得ながら住民と一体となった「個性ある小都市(まち)」として災害に強い地区として位置づけられている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
町民一人当たり避難施設等面積	m <sup>2</sup> /人	公民館などの避難施設等の1人当たりの面積	公民館施設等を耐震化することにより東海・東南海地震の被害に備える。	0.76	平成17年度	1.4	平成22年度
避難場所(公園等)へ歩いていける人数	人	公園(避難場所)から半径500m以内の人数	地区西側の公園を整備することにより避難場所として位置づけ、町全体として避難場所まで歩いて移動することが可能な人数の増加	14,000	平成17年度	19,000	平成22年度
防災訓練参加者人数	人	防災訓練に参加する住民の人数	防災訓練を地区単位で行うことにより、身近な災害状況を想定した訓練を実施し住民の災害意識の向上を図る。	1,323	平成16年度	2,000	平成22年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(災害及び犯罪に強いまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区西側の最終処分場跡地を公園にすることにより、防災避難所としての位置づけとして町全体の防災機能を高める。</li> <li>・役場に隣接した中央公民館を耐震補強しエレベータを設置することにより、防災避難施設として被災者(弱者)が利用できるように整備する。</li> <li>・中学校校舎窓のアルミサッシを改修することにより、地震の際の窓ガラスが飛散することによる二次災害を防止するため、緊急に改修を行う。</li> <li>・避難所であるコミュニティ施設のトイレ等を改修することで、災害時の災害弱者の利便性の向上を図る。</li> <li>・子どもたちへの犯罪を未然に防ぐため、町内にある東・西小学校及び中学校の3校に防犯カメラを設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分場跡地公園計画整備事業(基幹事業)</li> <li>・中央公民館耐震診断改修事業(基幹事業)</li> <li>・中央公民館エレベータ設置事業(基幹事業)</li> <li>・中学校外壁改修事業(提案事業)</li> <li>・コミュニティ施設トイレ改修事業(提案事業)</li> <li>・小中学校防犯カメラ設置事業</li> </ul>
<p>整備方針2(自主防災組織等の意識向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害時の拠点避難地に広域防災倉庫を設置し、また、各行政区(15地区)に地域防災倉庫を設置することにより、行政区単位での防災訓練にも活用し、「見せる」から「参加する」へと地域住民の防災に対する意識を向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・拠点避難地・防災倉庫等設置事業(基幹事業)</li> </ul>
<p>整備方針3(避難経路の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通環境の改善を図りながら、地区内の避難所周辺の道路を整備することにより安全な避難経路を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路事業(基幹事業)</li> </ul>

### その他

- 「安全で安心なまちづくり」の推進体制が整っている。
- ・平成15年度に総務課内に「防災対策室」が設置され、防災対策について専門的に行う部署が設置されている。



都市再生整備計画の区域

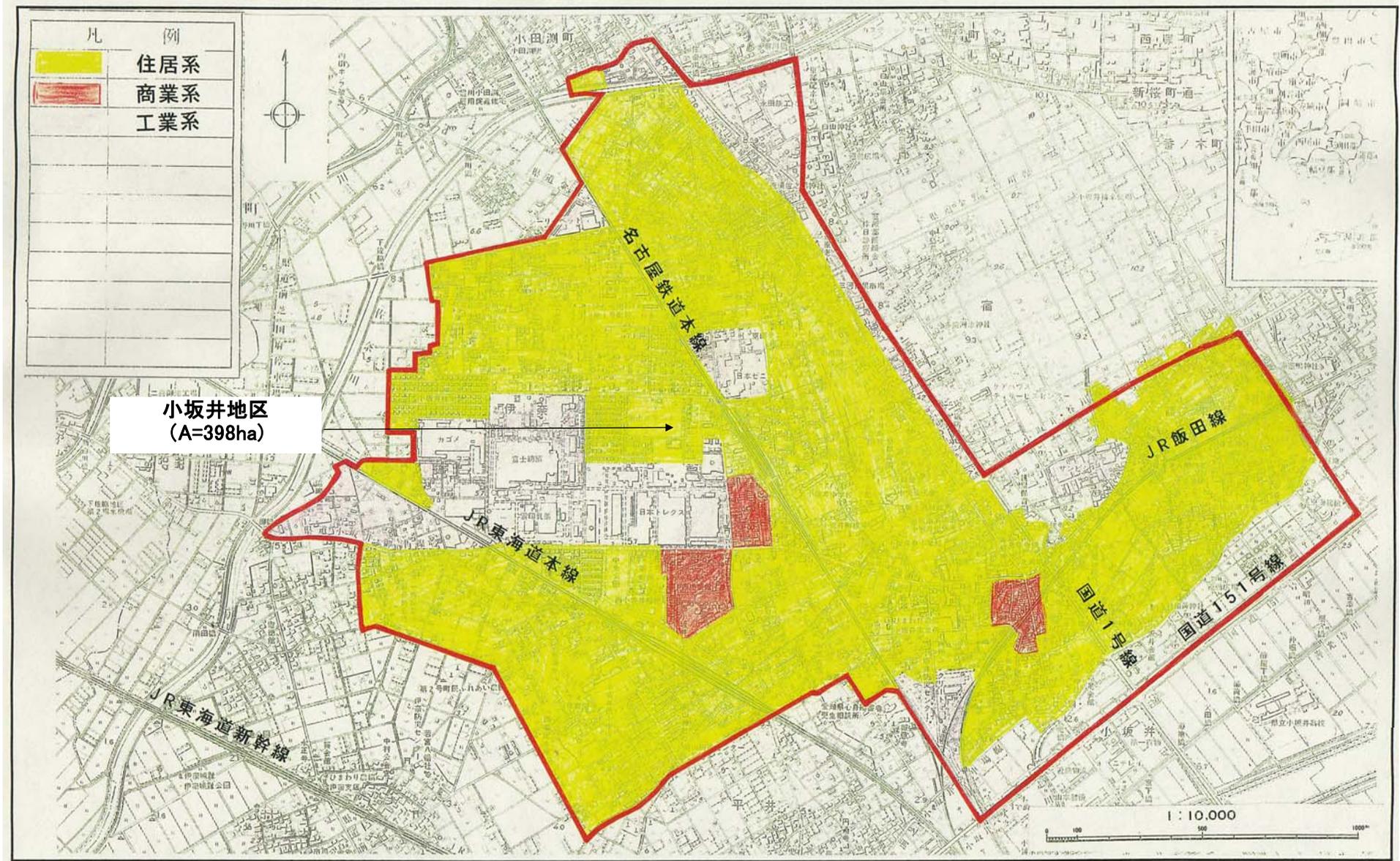
小坂井地区(愛知県豊川市)

面積

398 ha

区域

豊川市伊奈町、小坂井町、篠束町、宿町、平井町、美園



小坂井地区  
(A=398ha)

